

私たちが目指すこと。

患者の自立と主体的な医療参加、そして
患者と医療者のよりよいコミュニケーション

を目指し、1990年9月に活動をスタートしました。

2002年4月にNPO法人、

2016年7月に認定NPO法人として認証されました。

「いのちの主人公」「からだの責任者」としての

自覚をすることが賢い患者の第一歩。

患者と医療者が対話と交流するなかから、互いに

気づき合い、歩み寄ることのできる

関係づくりを願っています。

コムル
COMLは、患者中心の開かれた医療の実現を
目指します。

入会申込書

ご希望の会員を○で囲んでください。
団体賛助会員をご希望の場合は回数もご記入ください。

正会員 ・ 賛助会員 ・ 団体賛助会員()

フリガナ

お名前

年代

20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・
60代 ・ 70代 ・ 80代以上 で囲んでください。

ご住所

〒

電話番号

FAX番号

会報誌の
送付方法

郵送 ・ PDFをメール送信

ご希望の方法を○で囲んでください。
PDFをご希望の場合は、必ずEメールアドレスを以下にご記入いた
だくか、ホームページからアドレスのご提供をお願いします。

Eメール

ご職業

ご所属

ご記入いただいた個人情報は、当方の運営管理の目的にのみ利用いたします。

会員募集のご案内

コムルは、より公益性の高いNPOである認定NPO法人として認められています。認定NPO法人に賛助会員費や寄付をいただくと税制優遇がございます。ぜひ、個人でも団体でも会員として活動のご支援をお願いします。

正会員	〈総会での議決権があり法人の運営に参加できます〉 年会費 6,000円 (学生は半額)
賛助会員	〈会費は寄付金扱いとなります〉 年会費 4,000円 (学生は半額)
団体賛助会員	〈会費は寄付金扱いとなります〉 年会費 1030,000円

入会をご希望の方は、

- ① 左ページの「入会申込書」を郵送かFAX送信していただくか、ホームページからお申し込みください。
- ② 会費を銀行振込か郵便振替でご送金ください。

ご入金を確認でき次第、法人の定款や会報誌をお送り致します。
「入会申込書」のご送付と会費の入金によって入会を確認させていただきます。

銀行振込の場合

三菱UFJ銀行 梅田新道支店 (普)1178138
認定特定非営利活動法人ささえあい医療人権センターCOML
理事長 山口育子
トクヒ)ササエアイリヨウジンケンセンターコムル リジチヨウ
ヤマグチイクコ

郵便振替の場合

口座番号 00930-9-50565
加入者名 NPO法人ささえあい医療人権センターCOML

賛助会員費や寄付金について

「寄付金受領証明書」をお送りします。個人の場合は確定申告の際に税金の控除が受けられます。団体(法人)の場合は経費として計上できます。その他、詳しくはホームページの「入会・支援」のコーナーでご案内していますので、ご覧ください。

コムル
認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML

〒113-0033 東京都文京区本郷3-35-4 不二光学ビル6階

TEL 03-3830-0655(代) FAX 03-3830-0646

ホームページ <https://www.coml.jp/> Eメール coml@coml.gr.jp



認定NPO法人
ささえあい医療人権センター

コムル
COML

いのちの主人公は、私たち。
からだの責任者も、私たち。

だから、私たち自身が、
賢い患者になりましょう。

コムル
COMLでは、
このような活動を主におこなっています。

電話相談

全国の患者・家族の医療に関する相談を受けつけています。

TEL 03-3830-0644

月・水・金 10:00~13:00、14:00~17:00

(月曜が祝日の場合は火曜に振替)

土 10:00~13:00

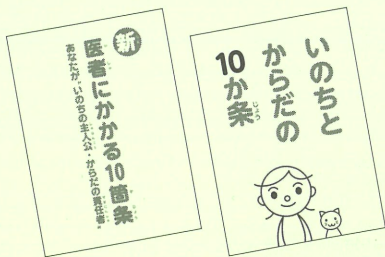
会報誌

会員の方に毎月お届けしています。市民・患者・医療者など、さまざまな立場の人のメッセージや取り組み、COMLに届く相談内容、医療の制度・しくみの最新情報、活動報告などを盛り込んだ情報誌です。



小冊子の発行

賢い患者としての心構えをご紹介している『新 医者にかかる10箇条』。子どものころからのちやからだは自分で守り、受診するときは主人公として自覚症状は自分で伝えようとメッセージを送っている子どもの『いのちとからだの10か条』。いずれも1条ずつ見開きでイラストを使って解説しています。子どもの10か条を使った親子で学ぶワークショップの出前講座もおこなっています。



一般公開でご参加いただける活動は、最新の開催状況をホームページでご紹介しています。また、ホームページではそのほかさまざまな情報発信をしています。ぜひご覧ください。

<https://www.coml.gr.jp/>

医療をささえる市民 養成講座(基礎コース)

これからは、患者と医療者が協働してよりよい医療をつくりあげていく時代です。患者の視点や意見が必要とされています。そこで、医療の歴史や制度・しくみ、課題、医療費などについて1回3時間の5回講座で広く医療全般の内容を学べる講座です。

患者と医療者の コミュニケーション講座

双方向性のコミュニケーションの実現のためには、患者のコミュニケーション能力も高める必要があります。そこで、伝言ゲームやロールプレイ、ディスカッションなどを通して、楽しみながらコミュニケーションについて考える講座です。医療者のご参加も大歓迎です。



伝言ゲーム



ロールプレイ

医療関係会議の一般委員 養成講座(アドバンスコース)

基礎コースである「医療をささえる市民養成講座」を修了した方を対象に、行政や医療機関などの審議会、検討会、倫理審査委員会などで委員を務める方を養成する講座です。1回3時間の7回講座で、修了した方を対象に行政などから要請があれば委員を派遣できる「一般委員バンク」も拡充予定です。

医療のmanabiya(Web) 大阪患者塾(対面)

身近な問題をテーマに話題提供をおこない、患者・家族・医療者などの参加者がテーマに沿った話し合いをおこなっています。そのなかで、お互いに知恵を出し合い、対話・気づき合い・歩み寄り関係づくりを目指す場です。



話題提供者からの話



グループディスカッション

SP(模擬患者)

SPとはSimulated PatientとStandardized Patientの頭文字の略語です。前者は性格・生活環境・症状を詳しく設定した患者になりきり、医療系学生や医療者のコミュニケーショントレーニングの相手役を務めます。模擬診察の後は、問診中に患者として気づいたこと、感じたことを率直に相手役のドクターやナースなどに伝えます。後者は現在、医学部・歯学部・薬学部でおこなわれている客観的臨床能力試験(OSCE)での医療面接の試験の相手役となるものです。

1992年から取り組んできたSP活動を通じて、医療側に患者が一人ひとり生活背景を持った個別的な存在だということを理解し、コミュニケーション能力が高まるトレーニングになればと思っています。



模擬診察

病院探検隊

依頼を受けた医療機関などに出向き、初めて訪れた患者の視点で見学・受診(実際の症状や持病を使います)をします。その後、改善のための提言・提案を医療機関側のスタッフに伝え、話し合います。患者の視点を生かした改善に役立てていただいています。



病院内を見学



病院側スタッフとのディスカッション